

31日、ライナンバー法等改定案が国民、公明の与党、日本維新的会、国民民主党の賛成多数で可決されました。人の命を何と考えていたのでしょうか。健康保険証と一緒に化したマイナカードに別人の情報が登録されていた誤りは、医療事故を起こしかねない危険なトラブルです。7300件以上も起きていました。他にも公金取引座の誤登録、コンビニでの別人の証明書交付、別人へのマイナポイント付与など個人情報を扱うシステムとして体をしていません。法案の成立は許されません。

主張

マイナ法案強行

ものが悉く不されました。他人の医療情報に基づいて誤った診断や薬の処方が行われ、健康被害が生じる可能性があります。河野太郎デジタル相も「健康に被害が及べば深刻なトラブル」と国交で答弁し、重大性を認めました。

任意ですが、保険証廢止になれば、すべての国民がカードの取得と、保険証との一体化を事実上強制されます。

特別養護老人ホームなど多くの施設では、看護者がカードの保管や暗証番号の管理の責任を負わされます。個人情報が流出すれば、処罰もありうる重い負担です。

で有效期限もあり、解決になりま  
せん。

国民不在のデジタル化

数々のトラブルは、國民不在で進められてきた政府のデジタル化

## 混乱必至の保険証廢止やめよ

中には、マイナカードで保険情報  
を読み込んだ上、確認のため、保  
険証の提示を患者に求めていたと  
ころがあります。

マイナカーへの償却は地に落ちています。2024年秋の保険料止まりです。

国のない人が領事事を振り直すよ  
う言われた」と言います。許しが  
たい障害者排除です。

出してはなりません。政府は、保険証廃止後、マイナカードを持たない人には「資格確認書」を発行するとしていますが、申請が必要

不倫と木村女は結婚の運びがつた。安  
全なハンドルによる前提は破綻し  
てこあり。法律は既に既成しかあり得  
せん。